

決算審査意見書

- 1 審査の対象 平成19年度西原町水道事業会計決算
- 2 審査期間 平成20年7月4日～同8日(3日間)
- 3 審査の基本方針

審査に付された水道事業会計については地方公営企業法、同施行令及び同施行規則の規定に従い決算報告書、損益計算書、貸借対照表及び剰余金計算書(利益剰余金及び資本剰余金)が適正に表示されているかどうか、また事業の運営に当たっては地方公営企業法第3条の規定の趣旨に従い、常に効率的な運営と公共性の確保に留意されているかどうか重点をおいて審査した。

4 審査の結果

決算報告書等は関係法令の諸規定に基づいて作成されており、収益及び費用の額、資産及び負債の額、利益剰余金、資本剰余金の額は正確であり、当該水道事業の損益、資産、負債及び資本の状況を正しく示しており、適正であると認められた。

5 審査の概要及び意見

(1) 給水人口、配水量等の状況

本年度末の行政人口は34,662人、給水人口は34,650人でともに前年度の101.0%になっている。

給水世帯数は12,680世帯で前年度の102.1%となり、給水人口の増加率より1.1ポイントの増加になっている。

なお給水1世帯当りの人口は2.73人で前年度の98.9%に減少している。

給水栓数は9,205件で前年度の100.6%の伸びに止まっている。

配水量は4,256,993m³で前年度の99.9%に減少している。

しかし有収水量は4,109,120m³で、有収率が上昇したことに伴い前年度の101.1%に増加している。

人口、配水量等の状況表

| 区 分 | 人口、配水量等 | 人数等 | 前年度比 |
|---------|---------|-------------------------|--------|
| 20年3月現在 | 行政人口 | 34,662人 | 101.1% |
| 20年3月現在 | 給水人口 | 34,650人 | 101.0% |
| 20年3月現在 | 給水世帯数 | 12,680人 | 102.1% |
| 20年3月現在 | 給水1世帯人口 | 2.73人 | 98.9% |
| 20年3月現在 | 給水柱数 | 9,205件 | 100.6% |
| 19年度 | 配水量 | 4,256,993m ³ | 99.9% |
| 19年度 | 有収水量 | 4,109,120m ³ | 101.1% |

(2) 営業収益、営業費用等の状況

本年度の営業収益、営業費用等は次の表のとおりで水道事業の収益は配水量の若干の減少があったが、有収水量の増加等により営業収益は818,186千円となり、前年度より増加している。

営業収益のうち水道事業の主たる収益である給水収益は798,508千円で前年度の790,926千円より7,582千円の増加になっている。

給水収益は平成17年度までは8億円台の収益であったが、本年度は前年度より増加しているが、8億円台には達していない。

なお家庭用の使用水量は増加したが、団体用の使用水量が減少したこと等により、全使用水量は前年度の101.11%になっているが、給水収益は前年度の100.96%に止まっている。

営業費用が753,874千円で前年度より7,186千円増加している。

営業費用の増加の主な理由は職員数の減による人件費の減少、減価償却費の減少はあったが、修繕費は44,977千円(増加額6,897千円)、資産減耗損は27,809千円(増加額20,499千円)、委託料は29,910千円(増加額6,072千円)と、それぞれ前年度より増加したこと等が営業費用全体の増加要因になっている。

なお営業外費用は38,263千円で前年度より増加しているが、これは支払利息は33,672千円で前年度より3,028千円減少しているが、雑支出が4,591千円生じたことによるものである。

この結果営業利益は64,312千円で前年度より9,210千円増加し、経常

利益も 26,794 千円で前年度より 7,955 千円増加になっている。

なお純利益は 26,618 千円で前年度より 7,974 千円増加になっている。

また営業利益率は 7.86% と前年度より増加し、経常利益率も 3.27% と前年度より増加になっている。

営業収益及び営業費用等の状況表

(単位：千円・%)

| 区 分 | | 19年度 | 18年度 | 増減額 |
|------------|---|---------|---------|--------|
| 営業収益 | ① | 818,186 | 801,790 | 16,396 |
| 内 給水収益 | | 798,508 | 790,926 | 7,582 |
| 内 その他の収益 | | 19,678 | 10,864 | 8,814 |
| 営業外収益 | ② | 745 | 437 | 308 |
| 経常収益 ① + ② | ③ | 818,931 | 802,227 | 16,704 |
| 営業費用 | ④ | 753,874 | 746,688 | 7,186 |
| 営業外費用 | ⑤ | 38,263 | 36,700 | 1,563 |
| 経常費用 ④ + ⑤ | ⑥ | 792,137 | 783,388 | 8,749 |
| 営業利益 ① - ④ | ⑦ | 64,312 | 55,102 | 9,210 |
| 経常利益 ③ - ⑥ | ⑧ | 26,794 | 18,839 | 7,955 |
| 特別損益 | ⑨ | △ 176 | △ 195 | 19 |
| 純利益 ⑧ - ⑨ | ⑩ | 26,618 | 18,644 | 7,974 |
| 営業利益率 | ⑪ | 7.86 | 6.87 | - |
| 経常利益率 | ⑫ | 3.27 | 2.35 | - |

参考 有収水量 1 m³当り収益及び費用の状況表

(単位 : 円)

| 1 m ³ 当り単価 | | 19年度 | 18年度 | 増減額 |
|-----------------------|---|--------|--------|-------|
| 供給単価 | 1 | 194.33 | 194.61 | △0.28 |
| 給水原価 | 2 | 192.78 | 192.76 | 0.02 |
| 給水利益(1-2) | 3 | 1.55 | 1.85 | △0.30 |

※ 供給単価 = 給水収益 ÷ 有収水量

※ 給水原価 - 経常費用 ÷ 有収水量

(3) 配水量、有収水量及び有収率の状況

配水量は 4,256,993 m³で前年度より 6,192 m³減少しているが、有収水量は有収率が 96.53%に上昇したことにより前年度より 44,981 m³増加し 4,109,120 m³になっている。

なお本年度の有収率は 96.53%で前年度の 95.33%より 1.2ポイントも上昇している。

また本年度の有収率は過去数年の有収率では最も高い有収率になっている。

配水量等の状況表

(単位 : m³・%)

| 区分 | 19年度 | 18年度 | 増減量 |
|------|-----------|-----------|---------|
| 配水量 | 4,256,993 | 4,263,185 | △6,192 |
| 有収水量 | 4,109,120 | 4,064,139 | 44,981 |
| 有収率 | 96.53 | 95.33 | 1.2ポイント |

(4) 用途別使用水量の状況

用途別使用水量は次のとおりになっている。

① 家庭用

家庭用の使用水量は 2,795,370 m³ で前年度の 101.7% に増加している。

また構成比も 68.0% で前年度 67.6% より増加している。

② 営業用

営業用の使用水量は 877,708 m³ で前年度の 102.1% に増加している。

③ 団体用

団体用の使用水量は 435,249 m³ で前年度の 95.8% に減少している。

また構成比も 10.6% で前年度 11.2% より減少している。

なお団体用の使用水量は平成 16 年度以降毎年度減少傾向が続いている。

特に大口需要者である琉球大学の使用水量は 301,619 m³ で前年度の使用水量の 95.9% になっている。(医学部は前年度の 93.5% である。)

用途別使用水量表

(単位 : m³ ・ %)

| 用途別 | 19年度 | 構成比 | 18年度 | 構成比 | 対前年度比 | |
|-----|-----------|---------|-----------|---------|-------|------|
| 家庭用 | 2,795,370 | 68.0 | 2,749,174 | 67.6 | 101.7 | |
| 営業用 | 877,708 | 21.4 | 859,935 | 21.2 | 102.1 | |
| 団体用 | 琉球大学 | 301,619 | 7.3 | 314,495 | 7.7 | 95.9 |
| | 内 医学部 | 201,756 | 4.9 | 215,723 | 5.3 | 93.5 |
| | その他 | 133,630 | 3.3 | 140,041 | 3.5 | 95.4 |
| | 計 | 435,249 | 10.6 | 454,536 | 11.2 | 95.8 |
| 臨時用 | 793 | - | 494 | - | - | |
| 合計 | 4,109,120 | 100.0 | 4,064,139 | 100.0 | 101.1 | |

※ 営業用には「営業用兼住宅」を含む。

(5) 分岐点別の配水量、有収率等の状況

配水量は3分岐点とも減少しているが、有収水量は3分岐点とも増加している。特に有収率は徳佐田分岐点が97.79%と前年度の96.68%より1.1ポイントも上昇している。

安室及び内間分岐点の有収率も上昇しているが、徳佐田分岐点の有収率に比べる例年低い有収率である。

特に内間分岐点は94.45%と前年度より1.1ポイントも上昇しているが、徳佐田分岐点の97.79%より3.34ポイントも低い状況にある。

このことは内間分岐点については他の分岐点より漏水の量が比較的に多いということも考えられる。

このようなことから特に内間分岐点地域、安室分岐点地域については引き続き有収率の推移を注視しつつ、漏水の有無の早期発見と早期対策を講じてもらいたい。

今後の経営の効率化にあたっては現在の有収率の維持及び向上は絶対的に必要である。

なお徳佐田分岐点は97.79%と比較的高い有収率になっているが、今後この有収率を更に高めることは容易なことではなく、特に当分岐点の配水量は最も多く、全配水量の50%強を占めていることから有収率の推移を常時注視する必要がある。

分岐点別配水量等の状況表

(単位 : m³・ %)

| 分岐点 | 配水量 | 前年度比 | 有収水量 | 前年度比 | 有収率 | 18年度有収率 | 17年度有収率 |
|-----|-----------|------|-----------|-------|-------|---------|---------|
| 徳佐田 | 2,235,965 | 99.9 | 2,186,646 | 101.1 | 97.79 | 96.68 | 96.23 |
| 安室 | 1,018,827 | 99.9 | 975,876 | 101.5 | 95.78 | 94.34 | 91.81 |
| 内間 | 1,002,201 | 99.7 | 946,598 | 100.9 | 94.45 | 93.34 | 93.49 |
| 合計 | 4,256,993 | 99.9 | 4,109,120 | 99.0 | 96.53 | 95.33 | 94.52 |

(6) 財務分析の状況

本年度の主な財務分析結果は次のとおりになっている。

- ① 職員一人当りの給水人口及び営業収益は増加している。
なお職員は前年度より1人減少している。
- ② 流動比率は預金の額は増加したが、未払金の増加額は預金の増加額を上回る金額の増加があったことにより前年度の比率より低下している。
しかし本年度の流動比率は606%で理想比率(200%以上)になっており、高い流動比率であるといえる。
※流動比率の算出にあたっては1年以内に償還すべき企業債の額51,835千円は流動負債の額に含まれていない。
- ③ 営業収支比率108.53%は営業収益の増加額が営業費用の増加額を上回ったことにより前年度より増加している。
- ④ 経常収支比率103.38%は経常収益の増加額が経常費用の増加額を上回ったことにより前年度より増加している。
- ⑤ 減価償却率4.01%で前年度より減少しているが、これは電気計装設備の取替により既存の電気計装設備に対する償却費が減少したこと等により本年度の減価償却費が前年度より減少したことによるものである。

なお既存の電気計装設備の除却により資産減耗費の金額が増加している。

| 分析項目 | 19年度 | 18年度 |
|------------|----------|----------|
| 職員一人当り給水人口 | 3,850人 | 3,429人 |
| 職員一人当り営業収益 | 90,910千円 | 80,179千円 |
| 流動比率 | 606% | 2.081% |
| 営業収支比率 | 108.53% | 107.38% |
| 経常収支比率 | 103.38% | 102.40% |
| 減価償却率 | 4.01% | 4.85% |

参考計表

【表 1】 給水人口等の状況

| 年度 | 行政人口 | 給水人口 | 前年度比 | 給水世帯数 | 前年度比 | 給水一世帯人口 |
|----|----------|----------|--------|----------|--------|---------|
| 15 | 33,494 人 | 33,478 人 | 100.8% | 11,834 件 | 102.0% | 2.83 人 |
| 16 | 33,840 | 33,829 | 101.0 | 12,051 | 101.8 | 2.81 |
| 17 | 34,031 | 34,023 | 100.6 | 12,211 | 101.3 | 2.79 |
| 18 | 34,298 | 34,291 | 100.8 | 12,416 | 101.7 | 2.76 |
| 19 | 34,662 | 34,650 | 101.0 | 12,680 | 102.1 | 2.73 |

【表 2】 営業収益等の状況

(単位 : 千円・ %)

| 年度 | 営業収益 | 前年度比 | 左の内 給水収益 | 前年度比 | 供給単価(円) | 給水原価(円) |
|----|---------|-------|----------|-------|---------|---------|
| 15 | 853,562 | 103.3 | 840,840 | 102.9 | 197.79 | 194.38 |
| 16 | 806,816 | 94.5 | 800,297 | 95.2 | 196.08 | 197.11 |
| 17 | 814,165 | 100.9 | 802,735 | 100.3 | 195.59 | 196.08 |
| 18 | 801,790 | 98.5 | 790,926 | 98.5 | 194.61 | 192.76 |
| 19 | 818,186 | 102.0 | 798,508 | 101.0 | 194.33 | 192.78 |

【表 3】 配水量等の状況

(単位 : m³・ %)

| 年度 | 配水量 | 前年度比 | 一日平均配水量 | 有収水量 | 前年度比 | 有収率 |
|-----|-----------|-------|---------|-----------|-------|-------|
| 1 5 | 4,474,141 | 102.1 | 12,224 | 4,251,223 | 102.5 | 95.02 |
| 1 6 | 4,290,664 | 95.9 | 11,755 | 4,081,469 | 96.0 | 95.12 |
| 1 7 | 4,342,003 | 101.2 | 11,896 | 4,104,224 | 100.6 | 94.52 |
| 1 8 | 4,263,185 | 98.2 | 11,680 | 4,064,139 | 99.0 | 95.33 |
| 1 9 | 4,256,993 | 99.5 | 11,631 | 4,109,120 | 101.1 | 96.53 |

※ 有収率 = 有収水量 ÷ 配水量

【表 4】 有収水量の用途使用状況

(単位 : m³・ %)

| 用途 | 家庭用 | | 営業用 | | 団体用 | | 臨時 |
|-----|-----------|-------|---------|-------|---------|-------|-------|
| | 数量 | 前年度比 | 数量 | 前年度比 | 数量 | 前年度比 | 数量 |
| 1 5 | 2,749,105 | 101.6 | 944,358 | 101.9 | 556,265 | 108.7 | 1,505 |
| 1 6 | 2,700,335 | 98.2 | 892,249 | 94.5 | 488,109 | 87.7 | 776 |
| 1 7 | 2,729,620 | 101.1 | 893,816 | 100.2 | 479,982 | 98.3 | 806 |
| 1 8 | 2,749,174 | 100.7 | 859,935 | 96.2 | 454,536 | 94.7 | 494 |
| 1 9 | 2,795,370 | 101.7 | 877,708 | 102.1 | 435,249 | 95.8 | 793 |